

多摩川の一滴はこの山から 笠取山～雁峠

実施日 2011年5月21日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 佐藤金治、涌井良明、鈴木政三、山崎富美恵、石附智江、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正 計9名
 費用 JR2,220円(高尾起算) タクシ(塩山駅→中島川登山口)2,200円 バス(新地平→山梨市駅)800円
 交通費 計5,220円
 タイム 塩山(8:13タクシ)中島川登山口(9:15~26)休憩(10:08~13)黒槐(10:51~11:00)水干分岐(11:32水干神社往復11:48昼食12:20)笠取山頂(12:43~47)西峰(12:57~13:00)分水嶺(13:20)雁峠(13:22~42)休憩(14:39~50)新地平(15:45~16:28バス)山梨市駅(17:30~44)
 データ 積算距離 13.92 km
 移動平均速度 3.2 km
 最高高度 1953m
 総上昇量 700m
 移動時間 4時間 19分
 停止時間 2時間 00分

今回も天候を考慮して1日前倒しでの実施した。日程変更拘らず参加いただいたメンバーに感謝です。

快晴だが湿度が高くやや蒸し暑い中島川登山口でタクシを降りる。



きれいに舗装、整備された登山口である。歩きやすい道が緩やかに登っていき、地図上の

道とは若干異なり林道整備に伴い変更されたのか？しばらくで導標に従い山道に入ってくるが、やはり2.5万や昭文社地図とは異なるルートで高度を上げていく。道はよく整備され途中のベンチで一休み、芽吹き始めたカラマツに癒されながら黒槐(エゾユヅリ)の分岐へ、左へ平坦道を進み沢を越すと、僅かで傘取小屋への分岐になり、今日一番の急登で140m高度を上げると、



水干を経由する笠取山の巻道の分岐になる、ザックをデポして多摩川最初の一の水干(水神社)を往復する。

狭い山頂を見越しここで昼食を済ませ、山頂へ向かう、シャクナゲの多い狭い急登を越し、山頂へ、標柱のある狭い頂であらる。写真をとって展望台と西峰へ、遠望はさかないが快晴と心地よい風。



奥秩父山稜や大菩薩方面が望め、下山口になる雁峠の笹原も見えている。

ここからは真下に見える鞍部へ120mのまさに急下降である、途中ソフトボール大の落石に肝を冷やすが、山中では絶対に石を落さないという意識を持ち、もし落石を確認したら大声で『ラク！！』と叫ぶこと、石が停止したら『トマッタ！！』と周囲に知らせることを徹底したい。



下った鞍部から多摩川、荒川、富士川を示石柱のある小さな分水嶺を経て、雁峠への道へ。笠取山が整った笠形を見せている。広々とした気持ち。

の良い笹原の雁峠で、初夏の山の爽快さを満喫して、下山にかかる。それまでの道の状況は変わり、道形はしっかりしているが踏跡はそれなりに薄くなる。すぐに小さな流れが現れ、前方の木枝の赤布(テープ)を追いつつ下る。道は沢を何度雨も渡り返しながらかつていく、大雨や雨天時の通行には注意が必要なルートだろう。下るにつれ赤布も減り最後の左岸への渡渉点はややずれたしまった。沢際の足跡からかなりのパーティが同じ動きをしている様だ、赤布も付けるなら肝心な場所にはもっと目立つ様にあたらね。

この後は広川の左岸沿いに広くなった道を楽しみながら坦々と下り、ゲートを超すと舗装道で新地平へ、塩山行には間に合わず、山梨市駅行バスに何とか乗り込み1時間しっかり立って山梨市駅へ。お疲れ様の山行も無事終了です。

それでも反省会で盛上がるのは忘れずに…ゲンキなんだか？？なんだかね。

楽しい山仲間との楽しい山行、これからも続けられたらウレシイネ。皆さんアリガトウ&お疲れ様でした。

(記&写真提供・涌井 良明)